



～分収林の森林整備を効率的で計画的に進めるために～

1. 公社の健全な経営を継続するために現在取り組んでいる

- ① 林地の現地調査の状況 ② 分収割合の変更協議の進捗状況

についてお知らせします。

① 林地の現地調査の進捗状況について



項目	H25(実績)	H26(調査中)	H27(計画)	計
調査面積 (ha)	5,416	6,010	4,224	15,650
実施率	35%	38%	27%	100%
累計実施率	35%	73%	100%	

- ◆平成 25 年度から分収林の効率的で計画的な森林整備を進めるため、各林地の生育状況や路網状況の現地調査を実施しています。分収林契約者の皆様や森林組合をはじめ関係機関の方々のご協力によりまして、平成 25 年度は 5,416ha(全体の 35%)の調査を完了することができました。
- ◆平成 26 年度は現在調査中ですが、予定面積は 6,010ha で、平成 25・26 年度の累計で 73%の調査を完了する予定です。現地調査は林分評価の基礎資料となるもので、平成 27 年度で完了する計画です。
- ◆皆様には、今後ともご理解ご協力をお願いいたします。

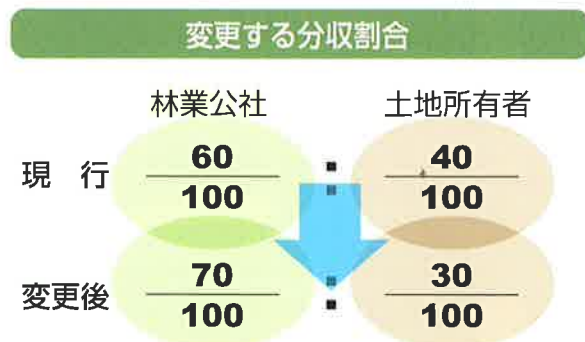
路網状況は、木材販売の手取り収入に大きな影響を与えるために調査しています。

② 分収割合の変更協議について

- ◆平成 25 年度から公社の健全な経営を目指し、経営の大きな柱であります「分収割合の変更」について、森林所有者の皆様にご理解とご協力をお願いしています。平成 25・26 年度は面積規模の大きい公的森林所有者(市町村・財産区)の皆様と協議を進めてまいりました。平成 27 年 1 月現在白鷹町内におきまして、契約件数・団地数 4 件、面積 68.40ha の同意を頂き変更合意書を締結することができました。



地元での説明会



これからも引き続き公社の経営状況を丁寧に説明させて頂き、分収割合変更の協議に伺いたいと考えていますので、何卒ご理解とご協力よろしくをお願いいたします。

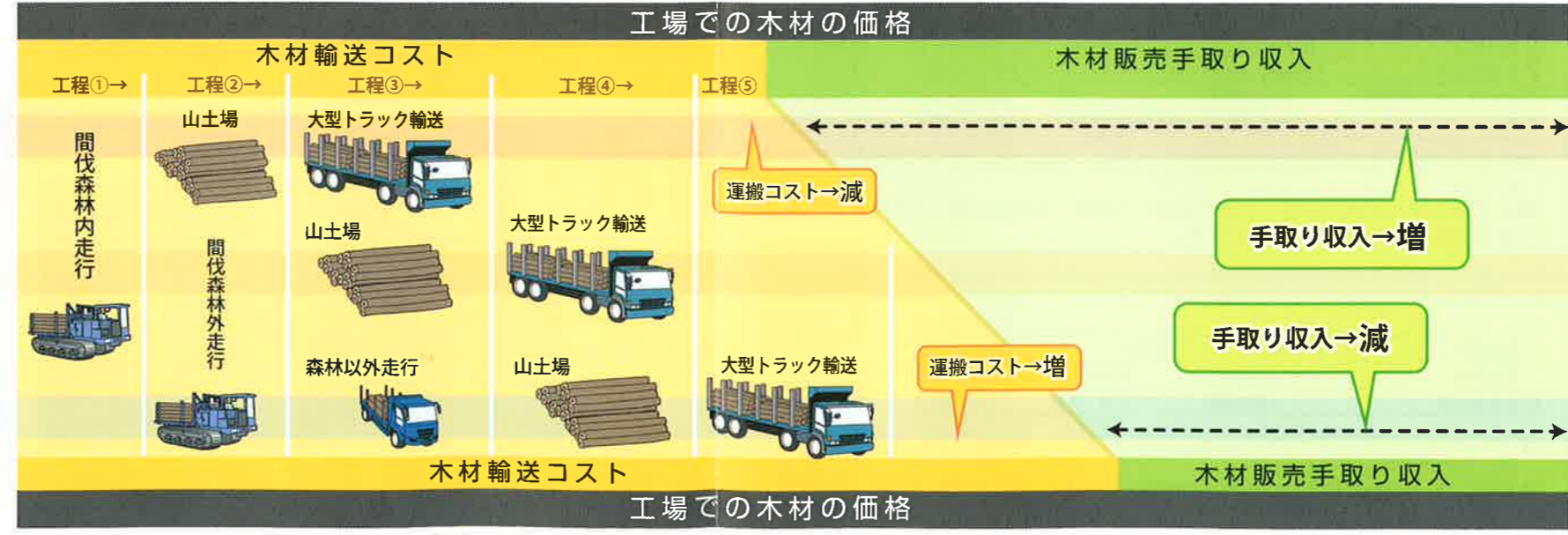
3. 木材の運搬条件の違いと販売収入について

間伐森林から「山土場」までの木材運搬の例



木材の運搬コストと販売手取り収入

間伐森林から大型トラックまでの工程が少ないほど木材販売の手取り収入は増加します



2. 現在の木材運搬の状況と平成26年度搬出間伐の実施状況について

(1) 現在の木材運搬の状況

①木材運搬専用大型トラック

- ◆現在、公社林からの生産材で大半を占める合板用材等は、加工施設が山形県内にないために、県外へ木材運搬専用の大型トラック(10t積トラック)で運搬しています。

木材は大型トラックで県外へ運搬



木材運搬専用大型トラック



スペース確保のため山を削った山土場



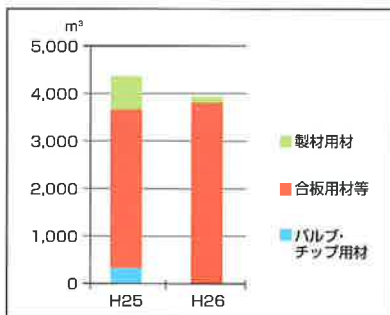
②山土場

- ◆木材の販売は大型トラックが横付けできる箇所、「林業では山土場と呼んでいる箇所」での値段で取引されることが主流です。間伐事業では木材を山土場まで運搬し、木材の取引は山土場で行われます。
- ◆山土場は大型トラックが走行できる道路付近で、まとまった量の木材を積み上げるスペースが必要になります。

間伐森林から「山土場」までの運搬環境によりコストが変わり木材販売の手取り収入に大きな影響を与えます。

(2) 平成26年度に実施した搬出間伐の結果と平成25年度の比較

搬出材積について

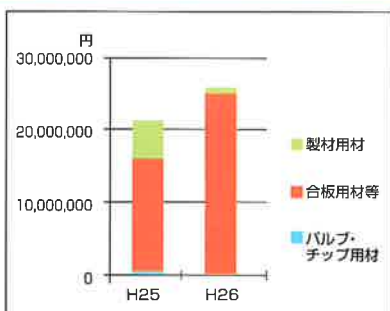


用材区分	H25	H26	増減
製材用材	729	120	-84%
合板用材等	3,297	3,773	14%
パルプ・チップ用材	304	0	-100%
計	4,330	3,893	-10%

単位: m³

- ◆平成26年度の製材用材が減少した理由は、①できるだけ高く販売するため規格を厳選したため、②東日本大震災の被災地復興のための木材を供給する必要があったためです。これに伴い合板用材等も平成26年度は増加しました。
- ◆平成26年度のパルプ・チップ用材が「0」の理由は生産コストに対して収入が少ないことから、生産を行わなかったためです。

販売金額について

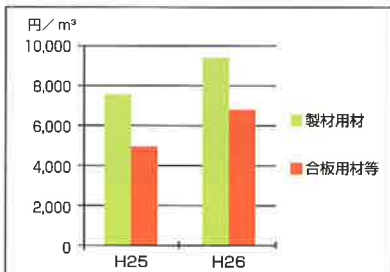


用材区分	H25	H26	増減
製材用材	5,499,522	1,125,614	-4,373,908
合板用材等	15,955,261	25,176,744	9,221,483
パルプ・チップ用材	325,450	0	-325,450
計	21,780,233	26,302,358	4,522,125

単位: 円

- ◆平成26年度の製材用材の金額が減少したのは、生産材積が減少したためです。
- ◆平成26年度の合板用材等の金額が増加したのは、供給量の増加と販売単価が高い工場に販売したためです。

販売単価について



用材区分	H25	H26	増減
製材用材	7,544	9,380	1,836
合板用材等	4,839	6,673	1,834

単位: 円/m³

- ◆平成26年度の製材用材の販売単価が増加したのは、規格を厳選して販売したためです。
- ◆平成26年度の合板用材の販売単価が増加したのは、大半を比較的単価の高い新潟や福島の新材工場に販売したためです。